

# 「あいち はぐみんプラン2020-2024」（目標）の進捗状況について

資料 2

## 評価の目安

◎ … 計画期間において等分に進捗すると仮定した場合と比較し、上回っている又は同水準のもの	16	(46%)
○ … 上記の水準には至っていないが、計画の目標水準に向かって推移しているもの	13	(37%)
△ … 計画策定時と同水準で推移しているもの	2	(6%)
× … 目標水準に向かって推移していないもの	4	(11%)
— … データがないなどの理由により評価できないもの	0	(0%)

全体の評価(計画策定後4年目)  
「◎」の16項目、「○」の13項目を合わせると、35項目の83%を占めており、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい状況下であったが、おおむね順調に推移していると考えます。

参考(計画策定後3年目)  
「◎」17項目、「○」12項目、「△」1項目、「×」4項目、「—」1項目

基本施策	項目	はぐみんプラン策定時		目標			
		年度	数値	年度	数値		
1	キャリア教育の推進	①	キャリア教育の視点で体験活動を実施している小学校の割合	2018	74%	2024	100%
2	就労支援	②	ヤング・ジョブ・あいち利用者の就職者数	2018	6,680人	2024	6,748人
3	思春期保健対策の充実	③	学校等と連携して思春期教育を実施している市町村の数	2018	40市町村	2024	全市町村
4	結婚支援	④	出会いの場を提供するイベント実施数	2018	1,133回	2024	1,500回
5	安心・安全な妊娠・出産の確保と不妊治療への支援	⑤	新生児集中治療管理室（NICU）の整備数	2019	189床	2024	増加
6	働き方改革とワーク・ライフ・バランスの推進	⑥	ファミリー・フレンドリー企業の登録数	2019	1,371件	2024	増加
		⑦	年次有給休暇の取得率	2018	52%	2024	57%
		⑧	男性の育児休業の取得率	2018	4.6%	2024	7.6%
7	男女共同参画の推進	⑨	6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間	2016	83分	2020	100分
		⑩	男性の働き方の見直しを促進する事業を実施している市町村の数	2018	18市町村	2024	全市町村
8	妊娠・出産期からの切れ目ない支援の充実	⑪	子育て世代包括支援センターを設置している市町村の数	2019	42市町	2024	全市町村
9	保育の受け皿拡充と保育人材の確保	⑫	待機児童の解消	2019	258人	2024	解消
		⑬	保育士等の確保数	2019	26,887人	2024	30,000人
10	多様な保育サービス、児童の放課後対策の拡充	⑭	病児保育事業の実施市町村数	2018	45市町村	2024	全市町村
		⑮	放課後児童クラブの待機児童の解消	2019	863人	2024	解消
11	子どもの貧困・ひとり親家庭への支援	⑯	スクールソーシャルワーカーの配置人数（県立高等学校・県立特別支援学校）	2019	7人（高等学校）	2024	増加（高等学校）
				2019	1人（特別支援学校）	2024	拠点校配置（特別支援学校）
		⑰	スクールソーシャルワーカーを配置している市町村の数（公立小・中学校）	2019	24市町	2024	全市町村
12	子どもの健康の確保	⑱	生活困窮世帯・ひとり親家庭の子どもの学習支援事業の実施市町村数	2018	40市町	2024	全市町村
		⑲	小児集中治療室（PICU）の整備数	2019	22床	2024	26床
13	学校教育の充実	⑳	幼稚園・保育所・認定こども園との接続に関する研究・研修を行っている市町村の数	2018	26市町村	2024	全市町村
		㉑	スクールカウンセラーの配置人数（県立高等学校・県立特別支援学校）	2019	56人（高等学校）	2024	増加（高等学校）
				2019	1人（特別支援学校）	2024	拠点校配置（特別支援学校）
14	青少年の育成	㉒	子ども・若者支援地域協議会を利用できる県内の子ども・若者の割合	2019	65.8%	2022	70%
15	児童虐待防止対策の推進	㉓	養育支援訪問事業を実施している市町村の数	2018	46市町村	2024	全市町村
		㉔	市町村子ども家庭総合支援拠点を設置している市町村の数	2019	7市	2024	全市町村
16	社会的養育の体制整備	㉕	施設等入所児童に占める里親等委託の割合	2018	15.9%	2024	20%
17	障害のある子どもへの支援	㉖	個別の教育支援計画の作成率	2018	小学校特別支援学級 99.7% 小学校通常の学級 67.6% 中学校特別支援学級 99.1% 中学校通常の学級 68.7%	2024	100%
		㉗	児童発達支援センターの設置市町村数	2018	19市町村(17市町及び1圏域)	2024	全市町村
18	外国人の子どもへの支援	㉘	外国人の子どものプレスクール実施箇所数	2019	16箇所	2024	増加
		㉙	多文化子育てサロン設置箇所数	2019	6箇所	2022	15箇所
19	子育てしやすい居住環境の整備	㉚	乳幼児の事故予防対策をしている家庭の割合	2018	74.5%	2024	増加
20	安心できるまちづくりの推進	㉛	キッズ・ゾーンを設定する市町村の数	2019	0市町村	2024	全市町村
21	地域の多様な主体との協働推進	㉜	子ども食堂の箇所数	2019	140箇所	2022	200箇所
		㉝	家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）を実施する団体数	2019	1団体	2024	11団体
22	県民・企業が一体となって応援する機運の醸成	㉞	子育て家庭優待事業登録店舗数	2019	9,739店舗	2024	10,000店舗
23	経済的支援の充実	㉟	理想の子ども数を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合	2018	51.3%	2024	47.7%

2023年度までの進捗		
数値	評価	時点
79.9%	○	2023年3月31日
5,245人	×	2024年3月31日
41市町村	△	2023年3月
366回	×	2024年3月31日
187床	×	2024年3月31日
1,732件	◎	2024年3月
66.7%	◎	2023年7月31日調査 (2024年2月27日公表)
25.7%	◎	2023年7月31日調査 (2024年2月27日公表)
114分	◎	2021年10月調査 (2022年8月31日公表)
19市町	○	2023年3月31日
54市町村	◎	2023年3月31日
52人	○	2023年4月1日
29,965人	◎	2023年4月1日
50市町村	○	2024年3月31日
570人	○	2023年5月1日
10人	◎	2024年3月31日
2人	◎	2024年3月31日
42市町村	○	2024年3月31日
44市町	○	2024年3月31日
22床	△	2023年12月1日
36市町村	○	2023年3月31日
62人	◎	2024年3月31日
5人	◎	2024年3月31日
73.6%	◎	2024年3月31日
50市町村	○	2023年3月
54市町村	◎	2024年3月31日
21.9%	◎	2024年3月31日
小特別支援学級 100.0% 小通常の学級 70.6% 中特別支援学級 100.0% 中通常の学級 73.6%	○	2023年5月1日
33市町村(31市町及び2圏域)	○	2024年3月31日
20箇所	◎	2023年3月31日
20箇所	◎	2024年3月31日
77.6%	◎	2023年3月
5市	○	2024年4月1日
518箇所	◎	2024年5月1日
10団体	◎	2024年3月31日
9,927店舗	○	2023年3月31日
62.4%	×	2024年3月

# 「あいち はぐみんプラン2020-2024」(目標)の進捗状況について

基本施策	目標		令和5年度の進捗状況		
	現況(計画策定時) ⇒	目標	数値	評価	評価の理由 / 取組状況 / 今後の推進方策
2 就労支援	② ヤング・ジョブ・あいち利用者の就職者数	6,680人 (2018年度) → 6,748人 (2024年度)	5,245人	×	<p>【評価の理由】 雇用回復傾向、求人検索のオンライン化などにより来所者数が減少しており、ヤング・ジョブ・あいち経由の就職者数も減少している。</p> <p>【取組状況】 目標達成に向けて、関係機関と連携しながら就職支援に取り組んだ。</p> <p>【今後の推進方策】 企業活動は回復傾向にあり、求人数の増加が見込まれることから、若年者の就職支援を継続的に行っていく。</p>
3 思春期保健対策の充実	③ 学校等と連携して思春期教育を実施している市町村の数	40市町村 (2018年度) → 全市町村 (2024年度)	41市町村	△	<p>【評価の理由】 改善しているが、目標を達成していないため。</p> <p>【取組状況】 各地域の保健所を中心に、市町村や教育現場等と連携して思春期教育を実施している。</p> <p>【今後の推進方策】 各地域での思春期教育の推進のため、引き続き市町村や教育現場等の連携に努める。</p>
4 結婚支援	④ 出会いの場を提供するイベント実施数	1,133回 (2018年度) → 1,500回 (2024年度)	366回	×	<p>【評価の理由】 イベント実施数が昨年度と比較し増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が相次ぎ、計画策定時と比較し大幅に減少したため。</p> <p>【取組状況】 イベント実施団体等を「プラチナ出会い応援団」、「出会い応援団」として登録。ホームページで婚活イベント情報を掲載。</p> <p>【今後の推進方策】 「出会い応援団」が実施する婚活イベントに対する補助を行うことや、企業や地域団体等に結婚支援の取組の提案等を行う「結婚コンシェルジュ事業」を行うことなどにより、結婚支援に積極的な団体との連携を一層図る。</p>
5 安心・安全な妊娠・出産の確保と不妊治療への支援	⑤ 新生児集中治療管理室(NICU)の整備数	189床 (2019年度) → 増加 (2024年度)	187床	×	<p>【評価の理由】 病床数が減少したため。</p> <p>【取組状況】 愛知県地域保健医療計画にてNICUを有する施設数の維持を計画している(2024年3月公示)。</p> <p>【今後の推進方策】 NICUにて質の高い新生児医療を効率的に提供できるよう図る。</p>
12 子どもの健康の確保	⑯ 小児集中治療室(PICU)の整備数	22床 (2019年度) → 26床 (2024年度)	22床	△	<p>【評価の理由】 病床数が計画策定時と同水準だったため。</p> <p>【取組状況】 愛知県地域保健医療計画にて増床を計画している。</p> <p>【今後の推進方策】 地域性を考慮の上、PICUの整備を進める。</p>
23 経済的支援の充実	⑳ 理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合	51.30% (2018年度) → 47.70% (2024年度)	62.4%	×	<p>【評価の理由】 コロナ禍による経済状況の悪化や物価高騰の影響等により、計画策定時と比較して11.1%増加したため。</p> <p>【取組状況】 児童手当の支給や第三子以降児の保育料の無償化等のほか、低所得者を対象とした県独自の給付金である「愛知県子育て応援給付金」の創設など、子育て家庭への経済的支援を実施している。</p> <p>【今後の推進方策】 引き続き子育て世帯への経済的支援を行っていく。</p>